

## 8.2 環境項目

計画道路及びその周辺の地域の概況(環境項目)の要約は表 8.2-1 に示すとおりです。

表 8.2-1(1) 地域の概況(環境項目)

項 目	地域の概況
大 気 汚 染	<p>計画道路及びその周辺では、一般局として東京都の管理する多摩市愛宕測定局があります。二酸化窒素、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、一酸化炭素については、平成 25 年度～29 年度の過去 5 年間、環境基準を達成していました。</p> <p>多摩市及び稲城市における平成 24 年度から平成 28 年度までの大気汚染に係る公害苦情件数は、多摩市で約 17%～26%、稲城市で 0%～約 3%の比率となっています。</p> <p>計画道路及び周辺における大気汚染物質の固定発生源となる施設としては、エコプラザ多摩、クリーンセンター多摩川があります。平成 30 年度(エコプラザ多摩)や 26 年度(クリーンセンター多摩川)の大気調査等は環境確保条例の排出基準や、運営管理目標を達成しています。</p>
悪 臭	<p>多摩市及び稲城市における平成 24 年度から平成 28 年度の悪臭に係る公害苦情件数は多摩市で約 3%～10%、稲城市で約 16%～41%となっています。</p>
騒 音 ・ 振 動	<p>東京都の道路交通騒音・振動測定結果によると、平成 24 年度から平成 28 年度の過去 5 年間、計画道路及びその周辺の地点において、平成 24 年度の都道町田調布線(稲城市坂浜 2824)では、夜間において騒音の環境基準を超過していますが、その他の地点は昼間、夜間ともに環境基準(振動は環境基準が設定されていないので道路交通騒音のみ)及び要請限度を達成していました。</p> <p>多摩市及び稲城市における平成 24 年度から平成 28 年度の騒音に係る公害苦情件数は、多摩市で約 46%～69%、稲城市で約 8%～22%の比率となっています。また、公害苦情総件数に対する振動に係る公害苦情件数は、多摩市で約 1%～7%、稲城市で 0%～約 1%の比率となっています。公害苦情総件数に対する低周波音に係る公害苦情件数は、多摩市で約 1%～7%、稲城市で 0%～約 1%の比率となっています。</p>
水 質 汚 濁	<p>計画道路及びその周辺の河川では、三沢川において水質の測定が実施されています。平成 24 年度から平成 28 年度の水質測定結果によると、すべての地点において水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、浮遊物質量(SS)のいずれの項目も河川環境基準(C 類型)を達成しています。</p> <p>多摩市及び稲城市における平成 24 年度から平成 28 年度の水質汚濁に係る公害苦情件数は、多摩市で約 3%～17%、稲城市で約 1%～7%の比率となっています。</p>
土 壌 汚 染	<p>計画道路及びその周辺には、土壤汚染対策法に基づく「要措置区域」または「形質変更時要届出区域」は存在していません。</p> <p>土地利用の履歴としては、計画道路内の稲城市百村 61 番地内において、過去にガソリンスタンドが存在していました。</p> <p>また、計画道路の周辺には稲城長峰スポーツ広場(旧坂浜処分場跡地)及び多摩サービス補助施設がありますが、いずれも計画道路は通過しません。</p> <p>多摩市及び稲城市の土壤汚染に係る公害苦情は平成 24 年度から平成 28 年度において発生していません。</p>
地 盤	<p>多摩市の平成 26 年から平成 30 年の累積変動量は+2.7mm～+6.3mm、稲城市の平成 26 年から平成 30 年の累積変動量は-0.7mm～+0.7mm でした。</p> <p>多摩市及び稲城市の地盤沈下に係る公害苦情は平成 24 年度から平成 28 年度において発生していません。</p>

表 8.2-1(2) 地域の概況(環境項目)

項 目	地域の概況
地形・地質	<p>計画道路及びその周辺の地形は、広域的には丘陵地であり、さらに詳しく地形分類をみると「大規模な宅地造成地」及び「大規模な人工改変地」となっています。また、計画道路の南側の尾根を越えた付近は「丘頂平坦面」や「丘陵地内の谷底平地」となっています。</p> <p>計画道路及びその周辺には重要な地形・地質はありません。</p> <p>計画道路は、多摩市で1箇所、稲城市で1箇所の急傾斜地崩壊危険箇所を、また多摩市で1箇所、稲城市で2箇所の土砂災害警戒区域(指定予定)及び土砂災害警戒特別警戒区域(指定予定)を平面構造でそれぞれ通過します。</p> <p>計画道路及びその周辺の表層地質は、主に稲城層(記号 Ig)、出店層(記号 Dd)となっており、東側には武蔵野ローム層及び武蔵野段丘堆積物(記号 M)、立川ローム層・立川段丘堆積物(記号 Tc)も分布しています。稲城層や出店層は、河口や三角州で形成された地層で砂、泥、礫を含んだ地質となっています。</p>
水 循 環	<p>計画道路周辺の湧水は「妙見寺」及び「若葉台公園」の2箇所で、妙見寺は計画道路の南側約 660m のところに、若葉台公園は計画道路の南側約 740m のところに位置しています。計画道路周辺の既設井戸等は、稲城市内に 11 箇所あります。そのうち計画道路沿道には 4 箇所(稲城中央公園、向陽台小学校、稲城第五中学校、稲城第一中学校)あります。</p> <p>平成 26 年から平成 30 年までの年間降水量は、府中地域気象観測所で約 1,400mm ~1,900mm(平年値 1,529.7mm(昭和 56 年から平成 22 年))であり、年ごとに増減があり、平成 26 年は比較的降水量が多く、平成 30 年は降水量が少ない傾向でした。</p>
生物・生態系	<p>計画道路及びその周辺には、市街地の中に公園等の緑地が点在し、多摩弾薬庫跡の樹林、耕作地及びゴルフ場等の草地のまとまりがみられます。</p> <p>計画道路の多摩市域には、「都立多摩丘陵自然公園」の普通地域があります。また、稲城市域には、環境省が指定した特定植物群落の「多摩弾薬庫跡の樹林」(温暖帯夏緑広葉高木林)が分布します。</p> <p>計画道路付近の既存調査から植物についてみると、計画道路が通過する多摩市域及び稲城市域の主な植生は「クヌギ-コナラ群集」と「ゴルフ場・芝地」です。また、多摩市と稲城市の市境付近には東京都が指定した「連光寺・若葉台里山保全地域」があります。その他に、稲城市が指定した「自然環境保全地域」があります。計画道路付近には巨樹が 5 件あり、そのうち 2 件は多摩市の天然記念物に指定されていますが、計画道路には存在しません。</p> <p>計画道路近隣の多摩市と稲城市の市境付近には、「連光寺・若葉台里山保全地域」があり、ニホンアマガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエル等の両生類、ヒメアカネ、ヘイケボタル等の昆虫類、キバサナギガイ、ナタネキバサナギガイ、ミズコハクガイ等の希少な貝類、ホトケドジョウ等の魚類が生息しています。</p>
日 影	<p>計画道路周辺は主として 2 階～3 階の低層建物の続く地区となっており、一部に稲城市長峰三丁目付近の集合住宅(11 階以上 15 階以下)、向陽台地区の集合住宅(4 階以上 7 階以下、8 階以上 10 階以下)等の中高層建築物が存在しています。</p> <p>計画道路周辺の建築物の日影規制については、東京都日影による中高層建築物の高さの制限に関する条例(昭和 53 年東京都条例第 63 号)により指定されており、都市計画法に基づき指定された用途地域、容積率及び高度地区の区分に応じ、日影規制時間が定められています。</p>
電 波 障 害	<p>計画道路及びその周辺の地上デジタル放送として、東方向の東京スカイツリー送信所から UHF 8 局電波が到来しています。また、衛星放送は、放送衛星(BS)及び通信衛星(CS)の電波が到来しています。その他、計画道路及びその周辺の一部は、永山中継局の放送区域に含まれています。</p>
風 環 境	<p>計画道路の標準区間沿道には、集合住宅、独立住宅、ゴルフ場等の公園、運動場等、教育文化施設が立地し、一部に独立住宅、専用商業施設、事務所建築物が立地する他、未利用地となっています。</p> <p>計画道路周辺は主として 2 階～3 階の低層建物の続く地区となっており、一部に稲城市長峰三丁目付近の集合住宅(11 階以上 15 階以下)、向陽台地区の集合住宅(4 階以上 7 階以下、8 階以上 10 階以下)等の中高層建築物が存在しています。</p>

表 8.2-1(3) 地域の概況(環境項目)

項 目	地域の概況
景 観	<p>計画道路及びその周辺の景観の地域特性として、多摩カントリークラブや多摩サービス補助施設などの豊富な緑、開放感のある街路、屋根や壁に同系色を用いた統一感のある落ち着いた美しいまちなみ、三沢川沿いの桜並木が、景観要素としてあげられます。</p> <p>計画道路及びその周辺は「東京都景観計画」によって、丘陵地の景観特性に調和した開発を目指す「丘陵地景観基本軸」の区域とされています。</p> <p>多摩市は「幹線道路沿道の景観形成」の「形成方針」において、「主要な幹線道路（南多摩尾根幹線道路、鎌倉街道など）沿道については、「多摩市の都市軸」として位置づけ、連続した豊かなみどりの形成や周辺と調和した街並みの形成を促進するなど、都市軸としての景観形成に努めます。」としています。稲城市は、「稲城市のすぐれた景観」として、向陽台地区の建物・まちなみ、稲城中央公園、三沢川の桜並木等を選定しています。</p>
史跡・文化財	<p>計画道路およびその周辺には、天然記念物2件(多摩市指定2件)、有形文化財3件(東京都指定2件、稲城市指定1件)、有形民俗文化財1件(稲城市指定1件)の合計6件が存在しています。計画道路に最も近い文化財は多摩市指定天然記念物の「スダジイ」です。</p> <p>また、計画道路及びその周辺には、合計38件の埋蔵文化財包蔵地が存在します。計画道路は11件の埋蔵文化財包蔵地を通過・近接・重複しています。</p>
自然との触れ合い活動の場	<p>計画道路及びその周辺にはよこやまの道、馬引沢南公園及び稲城中央公園をはじめいくつかの公園や緑地が分布しています。</p> <p>よこやまの道は、歴史とロマンを感じ里山とも触れ合える散策路として、多摩市等の13自治体をつなぐ緑と水の輪「多摩・三浦丘陵トレイル」の一部とされています。馬引沢南公園は道路を挟んで隣に位置する多摩東公園と景観的に連続しています。稲城中央公園は運動施設や散策路があり、市民の散歩や健康づくりに利用されています。</p> <p>その他、計画道路及びその周辺には、いくつかの公園や緑地、自然環境保全地域が分布していますが、計画道路が通過するものではありません。</p>
廃 棄 物	<p>東京都では、「東京都建設リサイクル推進行動計画」を平成10年11月に策定し、都関連工事から発生する建設副産物の計画的なリサイクルを推進しています。また、改定された「東京都建設リサイクル推進計画」(平成28年4月 東京都)で東京都関連工事の再資源化等率又は有効利用率の実績値(平成24年度)及び目標値(平成30年度及び令和2年度)を示しています。</p>
温室効果ガス	<p>東京都は「東京の温室効果ガス排出量を2000年比で2020年までに25%、2030年までに30%削減する」という新たな目標を掲げています。</p>

### 8.2.1 大気汚染

東京都では、大気汚染防止法に基づく大気汚染状況の常時監視を、一般環境大気測定局(以下「一般局」といいます。)及び自動車排出ガス測定局(以下「自排局」といいます。)において行っています。

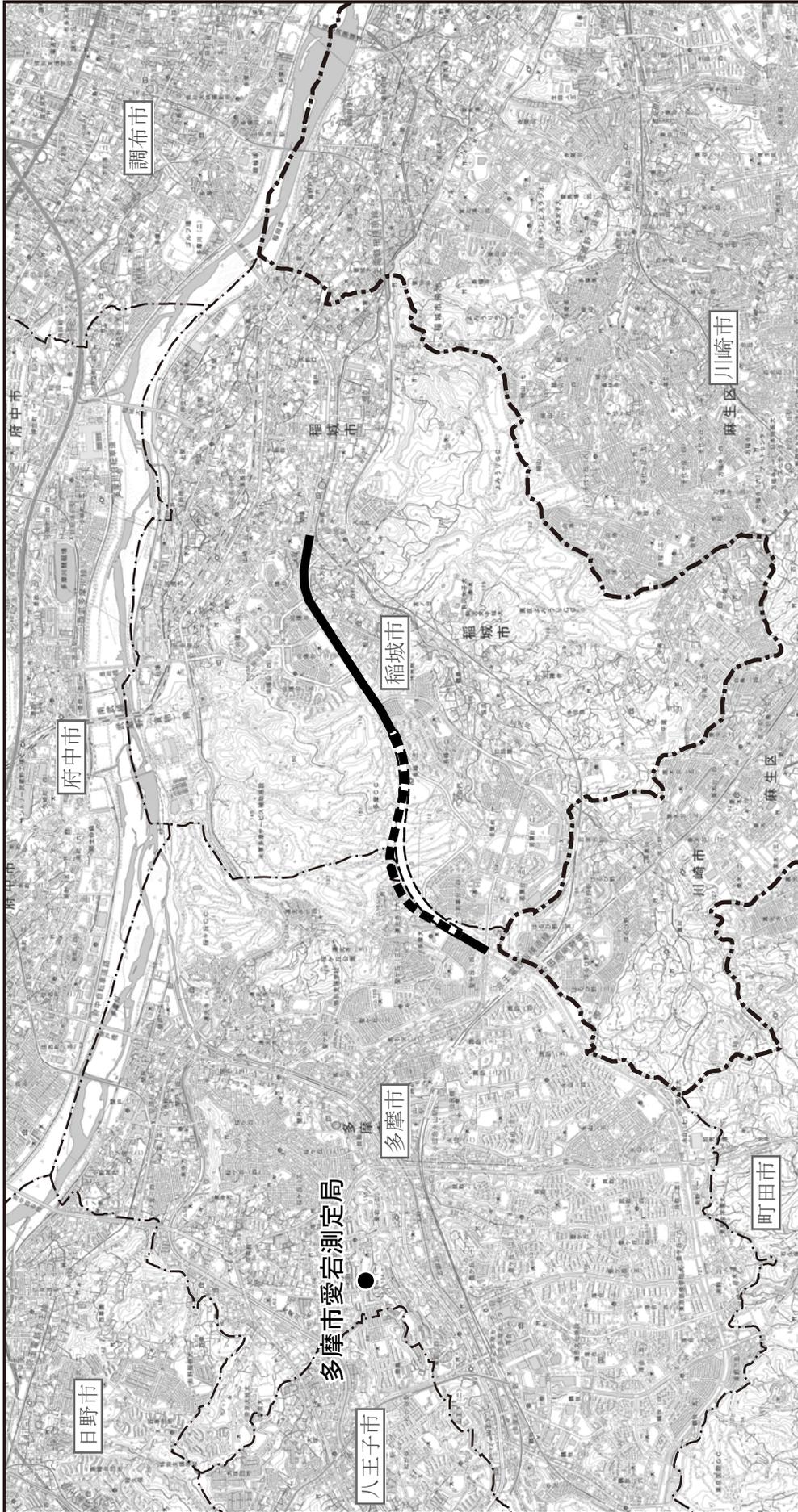
計画道路及びその周辺では、一般局として東京都の管理する多摩市愛宕測定局が設置されています。

測定局の位置は、表 8.2-2 及び図 8.2-1 に示すとおりです。また、各測定局の測定結果は、表 8.2-3～表 8.2-6 及び図 8.2-2～図 8.2-5 に示すとおりです。

表 8.2-2 大気汚染測定局

測定局	住所	管理	主な測定項目			
			NOx	SPM	SO <sub>2</sub>	CO
多摩市愛宕測定局 (一般局)	多摩市愛宕 1-65-1 (多摩市有地)	東京都	○	○	○	○

資料：「大気汚染測定結果ダウンロード」(平成 30 年 12 月閲覧 東京都環境局)



凡例

- 計画道路
- 計画道路 (トンネル構造 (A案 既定都市計画案))
- 計画道路 (トンネル構造 (B案 南側変更案))
- ..... 都県界
- - - - 市界
- 大気汚染測定位置 (一般環境大気測定局)



1:50,000

図 8.2-1 大気汚染測定局位置図

資料：「大気汚染測定結果ダウンロード」(平成30年12月閲覧 東京都環境局ホームページ)